

## 【会社を営むリスク】

今年8月3日に首都高速5号池袋線でタンクローリーによる火災事故が発生しました。事故日から一部開通した9日までは周辺道路でも大渋滞が起こっており、渋滞による損失額は約16億円になると算定されています。これに工事費等の実損額が加わると総額100億円にのぼるともいわれています。恐らく会社では何らかの保険に加入しているので工事費等の対物賠償は保険でまかなわれるものと思いきや、危険物を搭載するタンクローリーは支払条件を定めた特約がつくのが一般的で、保険でまかなわれない部分は会社に支払義務がおよぶ可能性が高い。この会社はたったひとつの事故で運命が大きく変わることになりそうです。つねづね会社経営は繁栄と衰退の紙一重の差だなと思います。

また最近では、事故に限らず産地偽装などの不祥事で取り返しのつかなくなった老舗会社の話も耳に新しいところです。

さて今回は会社経営にまつわるリスクについて考えてみましょう。

### ☆考えられるリスク

建設業	工期の遅れ損害、建設機器および輸送中の事故、労災事故
製造業	製造物責任(PL)、納期遅延損害、労災事故
運送業	交通事故(民事・刑事)、労災事故
通信・情報・サービス業	情報漏洩による損害賠償
飲食業	食中毒などの製造物責任(PL)
共通	慰謝料請求、契約不履行、株主代表訴訟、回収不能、風評被害、金銭横領など

私の言いたいことはリスクを考えて保険に入れというのではなく、実際に仕事に携わり業務を行っているのは従業員なので、従業員に危険は隣り合わせであること、故意や重過失の場合は従業員にも損害賠償が及ぶということを教育して頂きたい、ということです。

たったひとつの気のゆるみが事故につながり、自己の運命を変えることがあることを認識させ、気持ちを引き締めて仕事に取り組んでもらいましょう。

